

## シアトル→パリ 田中保とその時代

Seattle→Paris: Yasushi Tanaka and His Times

埼玉県立近代美術館

2022年7月16日(土)～10月2日(日)

## ■開催趣旨

岩槻生まれの画家、田中保（たなか・やすし、1886-1941）の回顧展を、当館では25年ぶりに開催します。18歳で移民としてシアトルに渡った田中は、働きながら絵を学び、画家としての地位を確立しました。シアトルで出会った美術批評家、ルイズ・ゲブハード・カントとは、国籍の違いを乗り越えて1917年に結婚しています。

1920年にパリに移住した後は、サロン・ドートンヌなどの展覧会に出品を重ねて評価を高め、肖像画や裸婦像といった分野で自らの芸術を開花させます。パリで人気画家となってからも、田中の胸中には祖国でこそ認められたいという思いがありました。しかし、日本の美術教育を受けず、アメリカで身を立ててきた田中は、生前に日本の画壇から受け入れられることはありませんでした。1970年代に作品がまとめて紹介されたことで再評価の機を得たものの、その生涯にはなおも多くの謎が残されています。

この展覧会では、埼玉県立近代美術館のコレクションを中心に借用作品を交え、最新の研究成果によって田中の画業を振り返ります。あわせて田中が生活した20世紀初頭のシアトルの状況や、パリで同時期に制作した美術家を紹介します。国際化が進み、人の移動がますます活発になった現在の視点から、海を渡って活動した田中の実像を再検証する試みです。



## ■展覧会の見どころ

- 埼玉県立近代美術館が所蔵する田中保の油彩画、ドローイング、資料を一挙公開！ 当館では25年ぶりの回顧展です。
- 岩槻からシアトル、そしてパリへ。海を渡った幻の画家、田中保の生涯と実像を、最新の研究成果によって時代とともに再検証します。

## ■展示構成

### 第1章： 田中保、船出する

岩槻に生まれた田中保は、旧制浦和中学を卒業後の1904年末、単身でシアトルに渡りました。働きながら画家を目指した初期の画業を、同じ画塾で学んだ清水登之の作品とともに紹介します。

### 第2章： シアトルの前衛画家

シアトルで画家としての地位を確立した時期の裸婦像や風景画を紹介します。前衛芸術への関心から一時は抽象絵画に接近したほか、1915年にはパナマ・パシフィック万博に出品。美術批評家、ルイーズ・ゲブハード・カンとの異人種間の結婚は、アメリカ各地でスキャンダラスに報じられました。

### 第3章： 肖像画が明かす人間関係

田中がシアトル時代に制作した肖像画のなかには、近年モデルが判明したものがあります。田中の活動に影響を及ぼしたモデルたちとの交流とともに、代表作を紹介します。

### 第4章： パリの異邦人、ヤスシ・タナカ

1920年、田中はルイーズとともにパリへ移住し、個展の開催やサロンへの出品を通して名声を高めていきます。華々しい活躍の裏には、日本での成功への強い思いと、日本人美術家たちとの間の溝がありました。田中の画業を決定づける年となった1924年に焦点をあて、パリ時代の裸婦像や肖像画を、同時代美術家の作品を交えて紹介します。

### 第5章： パリのサロン画家

日本での活躍の見込みが絶たれた後も、田中は1941年に亡くなるまで精力的にサロン出品を続けました。フランス各地で描かれた風景画、装飾美術への関心を反映したサロン出品作と推定される作品などを紹介します。

## ■開催概要

展覧会名	シアトル→パリ 田中保とその時代
会期	2022（令和4）年7月16日（土）-10月2日（日） 一部作品の展示替があります。 [前期：8月21日（日）まで/後期：8月23日（火）から]
休館日	月曜日（ただし7月18日、8月15日、9月19日は開館）
開館時間	午前10時～午後5時30分（展示室への入場は午後5時まで）
出品点数	約100点
主催	埼玉県立近代美術館
協力	J R東日本大宮支社、FM NACK 5
観覧料	一般900円（720円）、大高生720円（580円） *（ ）内は20名以上の団体料金 *中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い1名を含む）は無料です。 *併せてMOMASコレクション（1階展示室）もご覧いただけます。
関連事業	予定等の詳細は決定しだいホームページでお知らせします。 会期中、美術館公式ツイッター@momas_kouhouでも展覧会の見どころを発信します。

## ■会場案内

埼玉県立近代美術館 〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 9-30-1  
TEL.048-824-0111 FAX.048-824-0119  
<https://pref.spec.ed.jp/momas/>

- ・ JR京浜東北線北浦和駅西口から徒歩3分（北浦和公園内）。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅までそれぞれ約35分です。
- ・ 当館に駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き）。
- ・ 団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので事前にご連絡をお願いします。

## ■スライドトークのご案内

- ・ ご希望のグループにスライドを使って 展覧会の見どころをご案内します（予約制）。お問い合わせ、ご予約は教育・広報担当（問い合わせ先：048-824-0110）まで。

## ■新型コロナウイルス感染症防止対策について

- ・ ご来館にあたっては、新型コロナウイルス感染症防止対策にご理解とご協力をお願いいたします。
- ・ 状況により休館および会期変更の可能性があります。ご来館前に当館ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

## ■同時開催

### MOMA S コレクション (1階展示室)

- ・ 第1期 2022年4月30日(土) - 8月28日(日)  
セレクション／デザインで語るユートピアー1960-70年代イタリアから／特集：孫雅由の小宇宙
- ・ 第2期 9月3日(土) - 11月27日(日)  
セレクション／さいきんのたまもの／月を待つー日本画の夜景

### アーティスト・プロジェクト#2.06 高橋銃 (2階展示室D、地下1階センターホール)

7月16日(土) - 10月2日(日)

## ■プレスカンファレンス

2022年7月16日(土) 午後5時30分～(受付開始：午後5時)

埼玉県立近代美術館2階講堂

- ・ 上記の日程で、同時開催の「アーティスト・プロジェクト#2.06 高橋銃」とあわせて、プレスカンファレンスを開催いたします。
- ・ 参加ご希望の方は、kouhou@aria.ocn.ne.jp (広報担当・真中) までメールでお申し込みください。貴社名、お名前、取材スタッフの人数、テレビカメラの有無をお知らせください。

## ■お問い合わせ

- ・ 展覧会担当：佐伯、吉岡／広報・画像に関してのお問い合わせ：真中  
TEL: 048-824-0111 (代表) / 048-824-0110 (学芸直通) FAX: 048-824-0118

## ■広報用画像

- ・ 画像のご提供については、当館にお問い合わせください。当館から画像をデータにてご提供いたします。ご請求は kouhou@aria.ocn.ne.jp (広報担当・真中) まで、メールでお願いいたします。
- ・ 画像を掲載する場合、下記のキャプションを記載してください。また作品部分のトリミング、文字載せなどはしないようお願いいたします。

## ■キャプション

1. 田中保《自画像》1915年、埼玉県立近代美術館蔵
2. 田中保《キュビストA》1915年、埼玉県立近代美術館蔵
3. 田中保《東洋の少女(しとやかなナイチンゲール)》1918年頃、埼玉県立近代美術館蔵
4. 田中保《花》1917-20年、埼玉県立近代美術館蔵
5. 田中保《裸婦》1924年、埼玉県立近代美術館蔵
6. 田中保《黄色のドレス》1925-30年、埼玉県立近代美術館蔵
7. 田中保《サン・ベネゼ橋》1928年頃、埼玉県立近代美術館蔵
8. 田中保《猫と花》1920-40年、埼玉県立近代美術館蔵



1.



2.



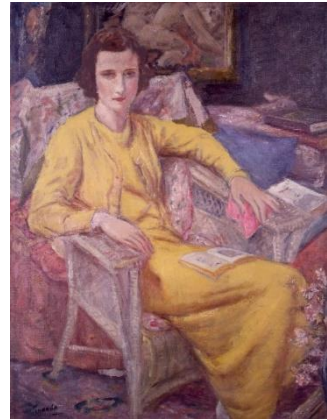
3.



4.



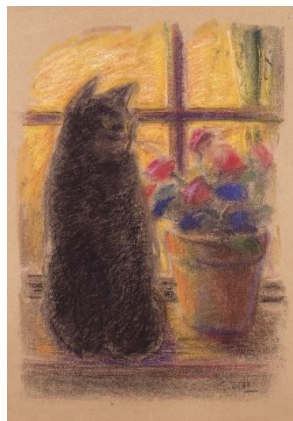
5.



6.



7.



8.